

## 災害とBCP

1月1日に発生した「能登半島地震」は甚大な人的、物的被害をもたらしています。今回の地震を機に多くの企業が、何らかの防災対策の大切さを改めて実感したのではないのでしょうか。東日本大震災以降、事前の備えとしての防災対策にくわえて、発生後の事業継続も視野に入れた、BCP (Business Continuity Plan=事業継続計画) への取り組みが進められてきました。BCPとは災害が起きたとき、事業を早期に復旧させて、継続するための対策です。

### ①事業継続に対する基本方針の明確化

「人命を最優先とする」

「重要顧客に対する供給責任を果たす」等

### ②事業中断による影響、

#### 想定事象やそれに伴うリスクの想定

大規模地震においては、ライフラインや交通の制約等があることも踏まえる

## 3つの要素を明確化

### 1. 重要業務の選定

優先的に復旧すべき  
製品やサービス

### 2. 目標復旧時間の設定

復旧までの許容時間、  
水準の見極め

## 事業継続

### 3. 必要リソースの確保

重要業務に必要な最低限のリソース  
(ヒト / モノ / カネ / 情報)

リソースをどのように確保するのか

(復旧させるのか、代替確保するか)

参考：企業の防災対策・事業継続強化に向けて（内閣府）

日本では、地震のみならず、豪雨や火山噴火など、さまざまな自然災害により毎年大きな被害が出ています。その他に感染症のまん延、テロ等の事件、大事故などによる不測の事態が想定されます。被害を最小限に抑えるために、企業を含め社会全体が一丸となって防災・減災対策を強化することが必要不可欠といえるでしょう。

## page2024



JAGAT (公益社団法人日本印刷技術協会) 主催による印刷総合イベント「page2024」が、2月14日から16日までのリアル展示会を基軸に、カンファレンスやセミナーをオンラインでLive配信するハイブリッド方式で開催されます。

37回目の開催となる今回のテーマは『連携』です。前回は『創注』をテーマにスマートファクトリーやDXなど、印刷産業が取り組むべき課題が山積するなかで印刷会社が生き残っていくためには、仕事を創ることが最優先事項であるとの想いが発信されていました。それをよりビジネス化していくために、「page2024」では、他社の技術やサービスなどを情報共有し、相互発展につなげていく機会を提供していくことが目指されています。

リアル展示会に先立って、2月5日から13日までオンライン配信される「カンファレンス・セミナー」では、営業強化からAI活用、キャラクタービジネス展開、異業種連携までの多彩なテーマでビジネス領域を広げるセミナーが企画されています。

今後の業界の動向を知るために、参加されてはいかがでしょうか。

<https://page.jagat.or.jp/>

## JS環境委員会短信

厚生労働省によると新型コロナウイルスの感染が再拡大しているとのことです。感染力が高い新たな変異株も広がっているようです。油断せず感染対策を続けていきましょう。

本社 環境委員会

